

# また市バスが値上げ?!

来年1月8日

130 → 140 円に

どうなんですか

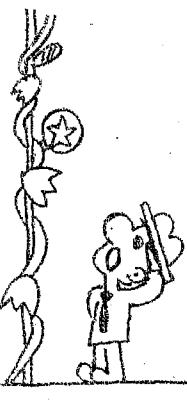
来春からのこの値上げは、昨年9月の市議会で可決されたものです。これにより市バス運賃は……

値上げ時期	~4/3	4/4	5/1	5/4	5/6	5/11	5/12	5/13
運賃	40	50	70	90	100	110	130	140

京大生協では

市バスに対して、京大生協は、

1. 大学生生活にとって、市バス運賃は大きな位置を占めている。  
大学生の生活を守り、教育費負担を軽減するため安易な値上げに反対する。
2. 市バスに対する市民・学生・教職員の不満や要求を反映させ、市の公共交通事業は市民とともにつくりあうていくよう求める。

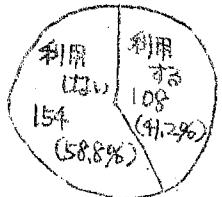


の立場でとりくみ、昨年、市バス運賃や利便性に対するアンケートを行い、それをもとに、市議会への請願や、交通局との交渉・シンポジウムで私たちの要求を出していました。

市バスアンケート結果より

(50-9-8-9実施、262名)

普段乗る市バスを



\* 1か月あたり利用状況

- ・自宅生 4000~5000 円
- ・下宿生 3000 円前後
- ・市バスへの不満 (一部)
  - ・定期運行されない
  - ・本数が少なり
  - ・バス停に仮・アーケードの設置
  - ・バス停の位置 etc.etc.

安易な値上げは許されない



現在、市バス事業は、100億円以上の累積赤字を抱えています。しかし、その真の原因をつきとめないで、安易に値上げの方針を選択するのは納得できません。しかも、市バスに対する市民や学生の不満(利便性など)をそのままにして値上げだけ行っていては、ますます客離れが進んでしまいます。市バス事業を危機にあらこんだ原因として、「マイカー優先の交通体系により、市バスが『市民の足』として機能できない」「独立採算制のおしつけにより、市バス事業が公共交通として運営が困難になった」などがあげられます。これらの解決の方向、公共交通事業再建の問題は、市民とともに考えていくべきであり、また、もっと市民が利用しやすい、名実共に「市民の足」となるよう、市民の要求をもつとり入れるべきなのに、市側にはそういう姿勢が全くみられません。

「足」を守ろう

5月29日に地下鉄開通と共に市バスの系統ががらりとかわりました。昨年12月に系統再編案が発表されました。これは、市民にほとんど知らされなかつばかりか、それに対する多くの利用者の不満や要望を無視してそのまま決行されました。私たちは、市バス・地下鉄に対する要求を出していき、また、京都の交通体系について市民が考えていくセンターとして「市民の足を守る会」を7月に結成しました。京大生協もそれに加入し、今後も、前述の立場からとくみを進めています。

京大生協